

SS 研 教育環境分科会 2023 年度会合

生成 AI を活用した教育実践の現状と課題

～ SS 研会員、CS 研会員、IS 研会員の各機関ご所属の方なら、どなたでもご参加いただけます ～

■ 日 時 : 2023 年 10 月 27 日(金) 13:40～17:10 (受付 13:10 ～)

■ 場所 : 神戸国際会議場 5 階 501

- 所在地 : [神戸市中央区港島中町 6-9-1](#)
- アクセス : 神戸空港よりポートライナーで約 8 分 市民広場駅下車
三宮駅(JR・阪神・阪急)よりポートライナーで約 10 分 市民広場駅下車

■ 開催方法 : ハイブリッド開催 (集合 + オンライン [ZOOM])

※現地での参加にあたりましては各自でご判断いただきますようお願いいたします。

■ ご参加について

- 参加対象 : SS 研会員、CS 研会員、IS 研会員の各機関ご所属の方
- 参加費 : 無料

■ 開催趣旨

生成 AI の普及により、さまざまな場面での活用が進んできています。SS 研教育環境分科会では、2023 年 8 月に「生成 AI の教育利用を考える」というタイトルで SS 研教育環境フォーラム 2023 を開催し、生成 AI の仕組みや教育利用における利点、問題点について議論しました。

本会合では、生成 AI の教育利用についてより具体的に考えるために、語学や工学、教職など様々な分野における教育実践をご紹介いただき、今後の展開と課題について議論していきます。

■ プログラム (予告なく変更する場合がございます。あらかじめご了承下さい。)

—敬称略—

13:40～	ウェビナー接続開始 [司会] 松葉 龍一 (東京工科大学)
13:40～13:45	開催趣旨説明 村上 正行 (大阪大学)
13:45～14:15 講演 25 分 Q&A 5 分	講演 1 生成 AI は英語教育に何をもたらすのか？ —ChatGPT 登場のインパクト— 金丸 敏幸 (京都大学) 生成 AI の登場によって、高等教育は大きな影響を受けることが予想される。これまでのような授業では、学習者の安易な AI 利用によって十分な学習効果が得られなくなる可能性もある。とりわけ日本の英語教育は、教師による指導というあり方から、AI を活用できる自律的学習者の育成へと大きな発想の転換が求められる。今回、AI を活用した自律的学習 (AI-Assisted Autonomous Learning: AAAL) という考え方を紹介し、学び続けることのできる学習者の育成という新たな教育観について述べる。
14:15～14:45 講演 25 分 Q&A 5 分	講演 2 文系大学のデータ教育と生成 AI ～これからのデータリテラシー教育～ 中鉢 直宏 (高崎商科大学) ChatGPT をはじめとする生成 AI の登場は、大学をはじめとする教育界への影響は少なくない。教育現場では、どのように向き合い、既存の教育との折り合いをつけて活用させるか思案を重ねている。生成 AI の影響は、データサイエンス教育も同様で、ChatGPT の Advanced Data Analysis 機能や新しい生成 AI ツールの登場により、生成 AI は、データ加工から分析方法の選択、データ分析、グラフなどの視覚化まで可能にした。このことはデータリテラシーレベルの教育へのインパクトが大きい。このような様々な環境変化を踏まえ、新しい教育の在り方を考える。

(裏面に続く)

14:45～15:00	休憩(15分)
15:00～15:30 講演 25分 Q&A 5分	講演3 【リモート講演】 「学修者本位の教育」を実現させるための生成AIを用いた教職支援とは 森本 康彦 (東京学芸大学) 学修者本位の教育の実現には、学修者自身が「何を学び、何ができるようになったか」という視点が大切です。学びの主演は学修者であり、生成AIには、学びを主導する学修者に、タイミングよくナイスアシストをしてくれたり、時にはそっと背中を押してくれたり、何気に誘導してくれたりするeパートナーとしての役割を与えることが必要です。そこで、本講演では、教員養成課程において、学修者本位の教育を実現させるための生成AI活用のあり方やその方法について議論します。
15:30～16:00 講演 25分 Q&A 5分	講演4 学習段階に応じた生成AI利用教育提案 村上 祐子 (立教大学) 生成AIの社会受容の進展は急速に進むと考えられるが、分野や地域・機関によって変容の在り方は異なると予想される。教育現場でも学習者のニーズによって異なる内容・教育方法が求められることになる。当講演では高等教育における学習段階による学習項目の提案を行う。
16:00～16:15	休憩(15分)
16:15～17:05 50分	パネルディスカッション 「生成AIを活用した教育実践の現状と課題」 ファシリテーター：重田 勝介 (北海道大学) パネリスト：金丸 敏幸 (京都大学) 中鉢 直宏 (高崎商科大学) 森本 康彦 (東京学芸大学) 村上 祐子 (立教大学)
17:05～17:10	閉会挨拶 隅谷 孝洋 (広島大学)

■ 詳細・お申し込み

SS研Webサイトからお申し込み下さい。

<http://www.sskn.gr.jp/MAINSITE/>

※オンライン参加用のアクセスURLは10月23～24日にお知らせさせていただく予定です。



【お問合せ先】サイエンティフィック・システム研究会(SS研)事務局
 〒105-7123 東京都港区東新橋1-5-2 汐留シティセンター
 富士通株式会社 TC事業部第二ビジネス部内
 Email: sskn-office@ml.css.fujitsu.com
 URL <http://www.sskn.gr.jp/MAINSITE/>